

第2節 職 員 歴

研究所の職員は8名から出発し、7年後の1968（昭和43）年には2倍の16名になった。その後、1978（昭和53）年にはこれまで最高の18名になったこともあったが、おおむね15～17名の間を推移してきた。小さな所帯ではあるが、30年も経過するとこれまでに研究所に勤務した人々は延べ60人に達している。かくも多くの職員が研究所と関わっていたことに今さらながら驚かされる。下記の表を見ると、一人一人の姿や、一緒にした仕事がなつかしく思い出される。研究所の再編整備もスタートし、大きく発展しようとしている。これも研究所を支えて下さった多くの先輩諸兄やこの表に記載されていないが研究所を支援して下さった方々によるものであり、謹んで感謝します。

2・1 歴代所長

	氏 名	発 令 事 項
1961年	栗原 忠 夫	小田原保健所長兼務
1963年	林 秀 夫	小田原保健所長兼務
1966年	轟 秀 夫	小田原保健所長兼務
1968年	関 本 一 雄	衛生部参事兼務
1969年	大 木 靖 衛	
1990年	久 保 清 治	環境部次長兼務（7月～8月）
	平 野 富 雄	研究部長兼務（9月～）

2・2 職 員

年	職員数	職 名	氏 名	発 令 事 項
1961年 昭和36年	8	所 長 主 事 主 査 技 師 技 師 技 師 主事補	栗原 忠夫 高橋 惣一 菅野 三郎 大木 靖衛 荻野 喜作 高橋 一郎 長塚 綾子 奥川 照代	転入（小田原保健所長兼務） 転入（小田原出納事務所） 転入（衛生研究所化学科兼務） 新規採用 転入（衛生部環境衛生課） 新規採用 新規採用 転入（小田原保健所）
1962年 昭和37年	10	所長代理 技師補 技 手 主事補	杉本 光夫 広田 茂 小梶 藤幸 奥川 照代	転入（小田原保健所総務課） 新規採用 転入（松田保健所総務課） 退職
1963年 昭和38年	12	所 長 所 長 技 師 技 師 主事補 庁務作業員	栗原 忠夫 林 秀 夫 高橋 一郎 平野 富雄 高橋ミネ子 守矢 正則	転出（衛生部長） 転入（小田原保健所長兼務） 転出（工業試験所樹脂科） 新規採用 転入（小田原保健所総務課） 転入（小田原保健所総務課）

年	職員数	職名	氏名	発令事項
1964年 昭和39年	12	所長代理 所長代理 主事補	杉本 光夫 高橋 惣一 木下 偉	転出 (松田保健所総務課) 昇格 新規採用
1965年 昭和40年	12	主事 主事	青木智恵子 高橋ミネ子	転入 (小田原家畜保健衛生所) 転出 (足柄下地方事務所林務課)
1966年 昭和41年	13	所長 所長 主事 主事 主事 技師	林 秀夫 轟 秀夫 伊藤 則之 木下 偉 大口 健志	転出 (教育長参事) 転入 (小田原保健所長兼務) 転入 (中地方事務所総務課) 転出 (衛生部予防課) 新規採用
1967年 昭和42年	12	所長代理 庶務課長 主事	高橋 惣一 穂津 正雄 青木智恵子	転出 (民生部国府実修学校庶務課) 転入 (農業会館) 退職
1968年 昭和43年	16	所長 所長 主事補 主任研究員 技師 技師 技師補 技師	轟 秀夫 関本 一雄 沢村 紀子 平賀 士郎 小鷹 滋郎 小沢 清 河西 正男 大口 健志	退職 転入 (衛生部参事兼務) 転入 (企画調査部広報課) 東京大学地震研究所より割愛 新規採用 新規採用 新規採用 退職
1969年 昭和44年	15	所長 所長 管理課長 管理課長 主事補 主事補 技師 主査(技術)	関本 一雄 大木 靖衛 穂津 正雄 久保田 博 沢村 紀子 鈴木 道子 横山 尚秀 菅野 三郎	退職 内部昇格 転出 (企業庁電気局足柄事務所) 転入 (高座愛甲福祉事務所) 退職 転入 (足柄下地方事務所県民課) 新規採用 兼務解除 公害センター所長



写真2・1 小田原時代の温泉研究所前で (1967年1月)
(前列左から、守矢、轟所長、高橋、荻野、後列左から、広田、
平野、伊藤、大口、小梶、松原 (学生)、青木、大木)



写真2・2 箱根の新庁舎に移転した当時の職員（1972年8月）
（前列左から、牧野新管理課長、大木所長、久保田旧管理課長、平賀研究科長）

年	職員数	職名	氏名	発令事項
1970年 昭和45年	17	技師 技師 技師 技師	田嶋 綾子 長瀬 和雄 粟屋 徹 大山 正雄	転出（衛生研究所食品栄養科） 転入（博物館学芸課） 新規採用 新規採用
1971年 昭和46年	17	技師補 技師補	河西 正男 伊東 博	退職 新規採用
1972年 昭和47年	18	管理課長 管理課長 技師補	久保田 博 牧野 弘美 落合 博	転出（民生部秦野精華園） 転入（足柄上病院経理課） 新規採用
1973年 昭和48年	17	主任主事 主任主事 主事 主事 技師補	伊藤 則之 井上 喜弘 鈴木 道子 小林 絹枝 落合 博	転出（足柄下農林事務所管理課） 転入（厚木建築事務所） 退職 転入（平塚保健所衛生課） 転出（相模川総合整備事務所）
1974年	17			
1975年	17			
1976年 昭和51年	17	主任主事 主任主事 主事 主事	井上 喜弘 栗原 伸孔 小沢 絹枝 渋谷 一代	転出（西部治山事務所管理課） 転入（小田原青少年会館） 転出（秦野保健所管理課） 転入（平塚商工事務所）
1977年 昭和52年	17	管理課長 管理課長	牧野 弘美 石川 敏之	転出（松田土木事務所工事契約課） 転入（小田原建築事務所）

年	職員数	職名	氏名	発令事項
1978年 昭和53年	16	技師	小椋 藤幸	転出 (小田原保健所管理課)
1979年 昭和54年	16	主任主事 主任主事 主事 主事 主任研究員 主任研究員	栗原 伸孔 井上 皓子 渋谷 一代 二見 和義 広田 茂 杉山 茂夫	転出 (秦野保健所管理課) 転入 (小田原土木事務所管理課) 転出 (小田原保健所管理課) 転入 (民生部国民健康保健課) 転出 (小田原保健所温泉課) 転入 (小田原保健所温泉課)
1980年 昭和55年	16	研究部長	平賀 士郎	内部昇格
1981年	16			
1982年 昭和57年	16	管理課長 管理課長 主査 技師	石川 敏之 青木 繁直 小沢 清 石坂 信之	退職 転入 (出納局指導課) 転出 (環境部水質保全課) 転入 (環境部大気保全課)
1983年 昭和58年	15	技能技師	守矢 正則	退職
1984年 昭和59年	15	主任主事 主査	二見 和義 野谷 栄一	転出 (環境部水質保全課) 転入 (川崎県税事務所直税第二課)
1985年 昭和60年	15	管理課長 管理課長	青木 繁直 諸星 忠義	転出 (小田原出納事務所) 転入 (企画部電算システム課)
1986年 昭和61年	15	主査 主任研究員	粟屋 徹 鈴木 正明	転出 (環境部水質保全課) 転入 (公害センター大気科)



写真 2・3 温泉地学研究所屋上で (1977年 1月)



写真 2・4 温泉地学研究所屋上で (1991年12月)

(前列左から、関、長瀬、諸星、平野、小鷹、大山、杉山、阿久津、
後列左から、八巻、棚田、石坂、松沢、横山、安藤、栗屋、伊東)

年	職員数	職名	氏名	発令事項
1987年 昭和62年	15	研究部長 研究部長 主査 主査 技師	平賀 士郎 荻野 喜作 野谷 栄一 橋井 秀雄 棚田 俊收	死去 内部昇格 転出 (環境部自然保護課) 転入 (農業大学校管理課) 新規採用
1988年				
1989年 平成元年	16	管理課長 管理課長 研究部長 研究部長 副主幹 主査 技師 技能員	諸星 忠義 米山 旭三 荻野 喜作 平野 富雄 井上 皓子 関 節子 八巻 和幸 松沢 親悟	転出 (松田土木事務所工事契約課) 転入 (津久井保健所保健予防課) 退職 内部昇格 退職 転入 (小田原保健所真鶴支所) 新規採用 新規採用
1990年 平成2年	15	主任研究員 主任研究員 主査 主査 所長 所長 所長	鈴木 正明 栗屋 徹 橋井 秀雄 阿久津 實 大木 靖衛 久保 清治 久保 清治 平野 富雄	転出 (公害センター特殊環境科) 転入 (環境部水質保全課) 転出 (足柄上保健所管理課) 転入 (小田原城北工業高校) 退職 (6月) (環境部次長) 兼務、7月 (環境部次長) 免兼務、8月 内部昇格 (部長兼務、9月)
1991年 平成3年	16	管理課長 管理課長 副主幹	米山 旭三 諸星 実 安藤 昌夫	退職 転入 (小田原青少年会館) 転入 (大和保健所保健予防課)

第3節 研究成果

1 共同研究

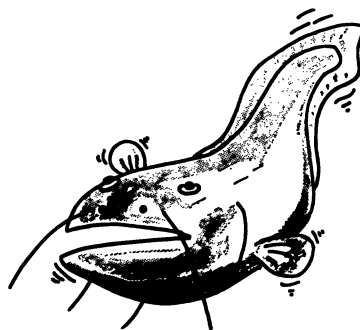
年度	共同研究名	関係機関
1979	箱根火山硫黄山硫気地帯の調査	省エネルギー専門部会 公害センター・工業試験所
	温泉およびその熱の有効利用研究	省エネルギー専門部会 公害センター・工業試験所
1980	箱根早雲山硫気地帯調査と金属材料試験	省エネルギー専門部会 公害センター・工業試験所
	温泉及びその熱の有効利用研究	省エネルギー専門部会 公害センター・工業試験所
1981	湯河原の地下水調査	神奈川県衛生部・湯河原町
1982	箱根の地下水調査	神奈川県衛生部・箱根町
1983	箱根の地下水調査	神奈川県衛生部・箱根町
1984	中川・鶴巻の地下水調査	神奈川県衛生部・山北町・秦野市
	土地分類基本調査（土地利用現況・履歴）	神奈川県企画部
1985	土地分類基本調査（自然災害） （土地利用現況・履歴） — 小田原・熱海・御殿場 —	神奈川県企画部
1986	土地分類基本調査（自然災害） （土地利用現況・履歴） — 藤沢・平塚 —	神奈川県企画部
	土地分類基本調査（自然災害） （土地利用現況・履歴） — 上野原・五日市 —	神奈川県企画部
	土地分類基本調査（自然災害） （土地利用現況・履歴） — 八王子 —	神奈川県企画部
1987	土地分類基本調査（自然災害） （土地利用現況・履歴） — 秦野・山中湖 —	神奈川県企画部
1988	土地分類基本調査（土地利用現況・履歴） — 横浜・川崎 —	神奈川県企画部

2 受託研究

年度	研 究 名	依 頼 機 関
1968	神奈川県津久井町神の川流域における温泉地質調査	神奈川県衛生部
	神奈川県津久井町神の川流域における試錐地質調査	神奈川県衛生部
1969	秦野盆地の地質と地下水	神奈川県内広域水道
	神奈川県伊勢原町大山地区温泉地質調査報告書	神奈川県衛生部
	神奈川県伊勢原町大山における試錐調査	神奈川県衛生部
	伊勢原付近の地質と地下水	伊勢原町
1970	大磯丘陵および相模野台地重力探査報告書	神奈川県内広域水道
	箱根火山の温泉、箱根町集団施設地区計画調査報告書	神奈川県
1971	神奈川県水道企業団の導水路トンネルが秦野盆地の地下水におよぼす影響調査	秦野市
	秦野盆地における弾性波探査	秦野市
	箱根外輪山温泉調査報告	神奈川県衛生部
1972	秦野盆地の地下水の適性利用量調査	秦野市
	箱根外輪山における温泉水位の連続観測昭和47年（1972）	神奈川県衛生部
1974	箱根カルデラ河川流出水の溶存成分に対する温泉の影響について	箱根町
	中井町五所宮地区の地下水調査	中井町
1975	三保ダム地域弾性波探査	神奈川県企業庁
	三保ダム地質図修正及びクラックマップ作成業務報告書	神奈川県企業庁
1976	三保ダム地質図修正及びクラックマップ作成業務報告書（Ⅱ）	神奈川県企業庁
	三保ダム貯水池周辺の地質図修正業務報告書（Ⅰ）	神奈川県企業庁
	仙石原湿原環境調査報告書 — 地質調査の部 —	神奈川県農政部
	仙石原湿原の地下水調査 — 文化財指定地周辺 —	神奈川県農政部
1977	三保ダム貯水池周辺地質図修正及びクラックマップ作成業務報告書	神奈川県企業庁
	三保ダム地質概要書	神奈川県企業庁
	箱根温泉総合調査 湯本地区	箱根町
	地下水許容安全揚水量算定調査	神奈川県環境部
1978	昭和53年度 大涌谷地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	箱根温泉総合調査 中央地区	箱根町
	箱根カルデラの水収支調査報告書	箱根町
	地下水許容安全揚水量算定調査	神奈川県環境部
1979	浄水管理センター建設工事が周辺地下水に及ぼす影響調査	秦野市

年度	研 究 名	依 頼 機 関
1979	昭和54年度 大涌谷地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	箱根温泉総合調査 山岳地区	箱根町
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1980	昭和55年度 大涌谷地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	箱根温泉誌	箱根町
	地下水利用等基礎調査	神奈川県企画部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1981	昭和56年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	湯河原の地下水調査	神奈川県衛生部
1982	昭和57年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	箱根の地下水調査	神奈川県衛生部
1983	産業廃棄物最終処分場周辺の地下水流動機構の解析等の報告書	神奈川県環境部
	昭和58年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	県央湘南地区地下水流動調査	神奈川県環境部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	箱根の地下水調査	神奈川県衛生部
1984	県央湘南地区地下水流動調査	神奈川県環境部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	中川・鶴巻の地下水調査	神奈川県衛生部
1985	昭和59年度 大涌沢地すべり対策調査報告書放熱量調査	神奈川県土木部
	昭和59年度 大涌沢地すべり対策調査報告書水質調査	神奈川県土木部
	県央湘南地区地下水流動調査	神奈川県環境部
	神奈川県ラドン調査	
	酒匂川流域の水涵養機能評価研究	農林水産省
	箱根河川流量調査	箱根町企画課
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1986	昭和60年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	県央湘南地区地下水流動調査	神奈川県環境部
	酒匂川流域の水涵養機能評価研究	農林水産省

年度	研 究 名	依 頼 機 関
1986	箱根河川流量調査	箱根町企画課
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1987	昭和62年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	酒匂川流域の水涵養機能評価研究	農林水産省
	温泉水位温度連続観測調査	神奈川県衛生部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1988	昭和63年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	南関東の第四紀火山	地震予知総合研究振興会
	地球化学的観測	地震予知総合研究振興会
	温泉水位温度連続観測調査	神奈川県衛生部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1989	平成元年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	1923年関東地震の神奈川県西部における地盤災害の特徴	地震予知総合研究振興会
	箱根芦ノ湖の水位変動	地震予知総合研究振興会
	地球化学的観測	地震予知総合研究振興会
	湧水調査	神奈川県環境部
	温泉水位温度連続観測調査	神奈川県衛生部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
1990	平成2年度 大涌沢地すべり対策調査報告書	神奈川県土木部
	地下水保全対策 1. 汚 染 2. 流 動 3. 地下環境	神奈川県環境部
	湧水調査	神奈川県環境部
	温泉保護対策調査	神奈川県衛生部
	温泉観測井測定事業	神奈川県衛生部



3 依頼調査

年度	委託研究名	受託研究所
1964	丹沢山塊の地球物理的及び地質学的調査	東京大学地震研究所
1966	丹沢山塊の地球物理的及び地質学的調査	東京大学地震研究所
1986	酸性泥岩の性状に関する基礎的研究	酸性泥岩研究会 (代表 島 誠)
1987	酸性泥岩の性状に関する基礎的研究	酸性泥岩研究会 (代表 島 誠)
1988	酸性泥岩の性状に関する基礎的研究	酸性泥岩研究会 (代表 島 誠)



一斗升とストップウォッチを使つての湧出量調査（1982年6月）